

■組織体制関連の対応について：

9 大学(国立 6、私立 3)からの回答をもとに新型コロナウイルス感染症対策 WG が集計

質問1 新型コロナウイルス感染症対策における大学のリーダーシップ

- ・新型コロナ対策本部等を設置
- ・大学としての対応方針、具体的な対応を決定する
 - ▷ 学生の入構制限、課外活動の制限
 - ▷ 卒業式の中止、入学式の中止
 - ▷ 入学試験の実施要領
 - ▷ 休校とその解除に関する基準の決定
 - ▷ 学生への支援体制

質問2 新型コロナウイルス感染症対策における保健管理施設の役割

- ・ COVID-19 危機対策本部・WG の構成員・オブザーバーとして大学全体の対策・方針の決定に関与・助言
- ・ 学内施設の巡視・視察を行い各部局へ安全衛生対策のアドバイス
- ・ 相談窓口
- ・ 体調不良者の対応
- ・ 出席停止、就業可否判定
- ・ 健康観察モニタリング
- ・ 授業の手引きや、実習マニュアルなどの作成、情報提供など
- ・ 患者発生時の PCR 検査（実施もしくは応援）
- ・ スクリーニング検査（PCR 検査もしくは抗原検査）

質問3 対面授業再開に向けて

- ・ 大学独自の活動制限指針を作成
- ・ 6 月頃から実習・実験など一部対面授業開始
- ・ 後期から対面授業とオンライン授業(オンデマンド型または同時双方型)を併用して実施
- ・ 来日困難な留学生や体調面での不安を抱いている学生等にはオンライン授業を提供
- ・ クラス人数の制限、座席指定
- ・ 対面授業とオンライン授業との併用のため、または学内混雑緩和のための授業時間の変更
- ・ 通学時のラッシュを避けるため、対面授業の時間割を変更
- ・ 対面授業の前後にオンライン授業を受けられるための場所の提供

質問4 研究活動再開について

□研究活動の停止・制限について

- ・ 制限・停止されなかった (1/8)
- ・ 一時制限されるも順次再開 (7/8)

□研究活動の制限など

<学生>

- ・ 卒業研究は全面解禁
- ・ 院生は来校時に事前申請

- ・海外出張は禁止
- ・国内出張は全国的な感染拡大状況および出張先の状況、業務内容を十分確認した上で指導教員が許可

<教職員>

- ・教員は教育・研究に必要最小限の場合のみ入構可
- ・再開内容は実施形態や換気量などに応じて各部局と相談して決定
- ・研究室内の換気、各員の手洗い、マスク着用の徹底、及び接触や不要不急な滞在時間を削減
- ・緊急事態宣言解除後においても、在宅勤務及び時差出勤を実施
- ・学外からアクセス可能な安全対策、感染対策のチェックリストを作成
- ・不要不急の国内出張は避け、出張先の状況も十分考慮した上で実施
- ・学会等の研究集会への参加及び主催を禁止
- ・研究室員が感染者（陽性）となった場合は、研究室の状況により、学年閉鎖、研究室閉鎖を判断

質問5 課外活動の実施状況

□課外活動は実施しているか

- ・制限付きで実施（6/8）
- ・再開準備中(1/8)
- ・全面禁止(1/8)

□課外活動の規制

- ・活動レベル規定に応じて、活動再開基準となる案を学内に周知。各団体が独自のガイドライン作成を促し、審査の上、実施方法の修正を求めた上で施設の利用を許可。現時点で、運動量に見合った換気量が得られない屋内施設の部分的使用制限、コンタクトスポーツの部分制限は継続。
- ・原則として公認団体のみ。感染対策を提出した団体の計画書を医師が確認し、許可できるの月から活動再開。合宿所と部室は使用禁止。更衣室の密を避けるため、合宿所を更衣室にして使用。
- ・「課外活動実施願」を記載し顧問教員が確認し提出。実施願の中の遵守事項が実施についての報告書も提出。
- ・運動会所属の部活動の一部再開。活動内容毎に競技団体が策定している感染対策ガイドラインなどを参考に感染対策指針を決定し学生担当理事、タスクフォースの承認をえての再開。
- ・屋外における活動など一部を除き、課外活動を自粛。
- ・代表者に講習を実施。屋外での活動を同じ時間帯に1団体に限って許可し再開。課外活動の申請・許可は当面は1ヶ月ごとに更新させる。
- ・前期は活動停止。9月から再開の予定だったが、8月末の学長副学長会議で再開は行わないことが決定。9月中の感染症WGの討議を経て危機管理委員会で10月1日からの再開が決定。ただし、各団体に注意点を配布し、各団体の学生に課外活動に関連するリスクアセスメント・対策を盛り込んだ再開届、誓約書を記載・提出してもらい、学生課から再開許可証を発行。

質問6 施設（図書館や部室等々）利用の取り扱い

□図書館

- ・ほぼ通常レベル（開いてはいるがキャンパスに学生がほとんどいない状態を含む）（3/8）
- ・人数制限、予約制、居住地による制限など一定の制限のもと利用可能（5/8）

□部室等

- ・課外活動の制限レベルによる。

質問7 感染者が出た場合の対応の取り決め（対応手順、公表の有無など）、実例

□対応手順について

- ・確定している (8/8)
- ・手順の学外公表あり (1/8) なし (2/8) 不明 (5/8)

□感染者公表の有無

- ・公表している、する (7/8)
- ・していない (1/8)

□公表内容についての配慮、制限についてのコメント (3/8)

- ・個人属性を明かさない、告知内容は確定済み
- ・公表にあたっての保健所との連携のコメント (2/8)

□実例

- ・発症例あり (5/8)、なし (2/8)、記載なし (1/8)
- ・重症例、死亡例 記載なし (8/8)
- ・クラスター発生例 記載なし (8/8)